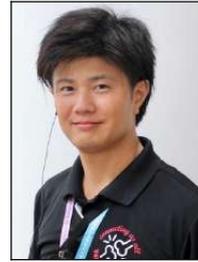


区西南部・西部ブロック

立候補者一覧



氏名 加辺 憲人
 年齢 47
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 初台リハビリテーション病院



氏名 松田 直也
 年齢 40
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 世田谷リハビリテーション病院

立候補の趣旨

(活動歴)
 2014年 研修施設認定基準助言グループ 班員
 2016年 臨床実習教育手引き改定特別委員会 委員
 2017年・2018年 千葉県理学療法士会 代議員
 2018年 ガイドライン・用語策定委員会脳卒中システムティックレビュー班 班員
 2019年 千葉県理学療法士会 東葛南部ブロック 副ブロック長
 2019年 日本理学療法士協会 職能局 局員
 2023年 公衆衛生等理学療法業務構築・検討部会 部会員 (現任)
 2023年 学会連合 診療報酬に係るエビデンス構築委員会 委員 (現任)
 2025年 令和8年度 診療報酬改定に向けた検討会 構成員

(趣旨)
 医療法人社団 輝生会 初台リハビリテーション病院の加辺憲人です。時代の変化に対応して、ご自身も大切な方もより良い生活に変わっているのでしょうか。人口減少の局面を迎える日本において、理学療法士は日本国民の全世代の健康寿命の延伸に寄与できる可能性があります。しかし、活躍の場を拡大するには個々の力と職能団体としての組織力の両輪が必要です。現状では両輪のどちらの要素もあり、帰属意識に課題があると考えます。私は2019年日本理学療法士協会職能局、2023年からは診療報酬に係るエビデンス構築委員会などで、現場とトップをつなぐ役割を担ってきました。この経験を通じて、多様性の時代だからこそ、一人ひとりのつながりを大切に理学療法士・職能団体であるべきであると感じています。
 代議員として、以下に取り組みます：
 ○現場の皆様との思いと東京都理学療法士協会の方針との双方向の活性化
 ○理学療法士がいそいそと活躍できる環境の実現
 現場の皆様との思いをつなげる役割として立候補をさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

立候補の趣旨

(協会活動)
 ・東京都理学療法士協会 代議員(4期目)
 ・第43回東京都理学療法学会大会 準備委員 運営部長

(立候補趣旨)
 私は、この度の代議員選挙に立候補させていただきます。主な理由は、学術活動を通して専門集団としての価値を高め、かつ発信していき、その上で理学療法士の処遇改善がどの施設においても定期的に成されるよう働きかけたい為です。



氏名 野口 隆太郎
 年齢 44
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 成城リハビリテーション病院
 訪問リハビリテーション



氏名 田村 公介
 年齢 38
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 原宿リハビリテーション病院

立候補の趣旨

東京都理学療法士協会の代議員を長年務めさせていただいているが、代議員と理事の意見交換会など近年理事と一般会員の相互の意見交換の機会が増えてきているのは非常にありがたく感じている。一方、組織率低下や学会運営が各ブロックに委ねられているなどまだまだ課題も多い。代議員としての活動を継続し、風通しのよい東京都理学療法士協会づくりに貢献したい。

立候補の趣旨

私は回復期リハビリテーション病院において、回復期病棟での臨床業務に加え、病棟管理、訪問リハビリテーション事業の立ち上げ、病院管理などに10年以上携わってきました。

その中で、医療・介護制度や職域上の制約により、理学療法士が本来果たすべき役割を十分に発揮できていない現状を数多く目の当たりにし、個人の努力だけでは解決が困難な課題の存在を強く感じてきました。

だからこそ、現場の声を集約し、医療・介護政策の中で理学療法士の専門性と役割をより明確に位置づけることが重要だと考え、代議員として協会活動に参画したいと志しました。

また、東京都区西南部は、独居高齢者や老老介護が増加する一方、働く世代や子育て世代も多く、多様な生活背景を抱える地域です。

病棟管理や訪問リハビリテーション事業の運営を通じ、医療と生活をつなぐ理学療法士の大きな可能性を実感してきました。

現場を知る代議員として、実情に即した提言と対話を重ね、東京都区西南部から理学療法士の未来を支える一助となれるよう全力で取り組んでまいります。



氏名 藤田 由貴子
 年齢 36
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 山中整形外科内科クリニック



氏名 尾崎 智之
 年齢 45
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 山中整形外科内科クリニック

立候補の趣旨

私は、区西南部・区西部ブロックに所属する会員の皆様の声を協会に届け、現場に即した意思決定へ反映させる代議員の役割を担い、責任を果たしたいと考え、立候補しました。
 現在、子育てをしながら理学療法士として臨床現場で働く中で、時間的制約や働き方、キャリア継続への不安など、子育て世代特有の課題を日々実感しています。
 若手理学療法士や子育て中の会員の中には、協会活動や制度に関心を持ちながらも、距離を感じている方が少なくないと感じます。
 これまで高齢福祉部の部員として活動に携わり、高齢者支援の現場には多様な課題があり、現場の声を協会へ届ける重要性を学びました。
 医療や介護、地域包括ケアの現場は変化が早く、現場の実情を正確に伝える役割が求められます。
 代議員として、若手や子育て世代を含めた現場の声に丁寧に耳を傾け、協会へ正確に伝えるとともに、協会の動きや決定事項を分かりやすく現場へ還元する橋渡し役を担っていきたいと考えます。
 現場と家庭の両立を経験する一会員としての視点を活かし、区西南部・区西部ブロックの発展と会員支援に貢献してまいります。

立候補の趣旨

私はこれまで、病院・クリニック・デイケアといったさまざまな現場で理学療法士としての業務に携わり、日々の臨床に打ち込んできました。
 急性期から生活期まで幅広い領域を経験する中で、現場ならではの課題や悩みを数多く感じてきました。
 そうした経験を通して、現場で働く理学療法士の声が、協会の活動や意思決定により反映されることの重要性を強く感じるようになり、今回、東京都理学療法士協会代議員に立候補いたしました。
 現場で働く多様な立場の理学療法士の意見を丁寧に受け止め、協会と現場をつなぐ役割を果たしたいと考えております。
 微力ではありますが、これまで培ってきた臨床経験を活かし、会員の皆さまにとって身近で開かれた協会運営に貢献できるよう努めてまいります。
 何卒ご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願っています。



氏名 佃 岳
 年齢 42
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 玉川病院



氏名 遠藤 敦
 年齢 49
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 総合東京病院

立候補の趣旨

長年ブロック部員としてブロックと関わらせていただいております。
 よりよいブロック活動ができるよう頑張りたいと思います。
 宜しくお願い致します。

立候補の趣旨

区東北部・区東部ブロック長、政策検討委員会委員長をさせていただき10年以上がたちました。
 まだまだ東京都理学療法士協会に役立てるよう、また会員からの意見を吸い上げ、よりよい協会が活動がこれからも運営されるよう尽力したいと思います。
 まだまだ未熟ものですが宜しくお願いいたします。



氏名 松本 浩一
 年齢 42
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 総合東京病院



氏名 岩熊 晋平
 年齢 41
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 成城リハビリテーション病院
 訪問リハビリテーション

立候補の趣旨

東京都理学療法士協会の代議員選挙に立候補いたしました、中野区の総合東京病院に所属しております松本浩一と申します。
 現代社会は、少子高齢化の加速や労働力不足により、大きな構造的転換期にあります。このような状況下で、医療・介護・福祉の提供体制を維持し、質を担保していくことは、我々理学療法士をはじめとする専門職に課せられた喫緊かつ重要な課題であると認識しています。
 昨今の効率性やコストパフォーマンス、タイムパフォーマンスを重視する社会風潮の中で、職能団体への加入に対し「目に見えるメリットが乏しい」という声を聞く機会が増えています。実際に、私の身近でも入会を見送る若手スタッフや、退会を選択する中堅スタッフが少なくない現状を目の当たりにし、強い危機感を抱いてまいりました。しかし、私はこの「メリット」に対し、異なる視点を持つ必要があると考えます。
 私はこれまで、東京都理学療法士協会において、介護保険部、災害対策委員会、公益事業推進委員会の活動をはじめ、日本理学療法学会学術研修大会の運営など、多岐にわたる事業に携わらせていただきました。これらの活動を通じて得られた最大の財産は、単なる知識の習得にとどまらず、所属施設の枠組みを越えた「理学療法士」という共通のアイデンティティを持つ仲間との強固な繋がりがこそ、何物にも代えがたい「メリット」であると考えるています。
 複雑化する社会課題に対し、小さな範囲で完結するのではなく、多様な現場の見識を持ち寄り、協力して解決の糸口を模索するプロセスは、専門職としての成長に不可欠なものです。こうした無形の価値をいかに可視化し、会員の皆様と共有できるかが、今後の協会運営の鍵になると考えています。
 変化を完全にコントロールすることはできませんが、その変化をいち早く捉え、柔軟に適應していく姿勢こそが今、本会に求められています。不透明な時代だからこそ、施設や地域の壁を越えて手を取り合い、現場の会員が抱く「入会の意義」という問いに真摯に向き合うことで、職能の未来を切り拓く一助となりたいと考えています。

立候補の趣旨

医療法人社団輝生会 在宅総合ケアセンター 成城リハビリテーション病院の岩熊と申します。
 このたび、東京都理学療法士協会代議員選挙に立候補いたしました。
 理学療法士として18年間、回復期および生活期の現場で臨床に携わってまいりました。通所リハビリテーションおよび訪問リハビリテーションにおいては責任者としての経験があり、現在も現場に近い立場で業務に関わっています。
 また、認定理学療法士（地域理学療法・管理運営）として、法人内の臨床認定カリキュラム運営や、区西南部地域リハビリテーション支援事業にも携わっております。
 これらの経験を通じ、医療や社会の変化とともに、理学療法士に求められる役割が大きく変化していることを実感してきました。
 医療と介護の連携についてもより重要になってきており、勤務する現場や立場が異なれば、課題や考え方もさまざまであり、それぞれの声に丁寧に耳を傾けることの重要性を感じています。
 リハビリテーションや理学療法士という言葉は広く社会に認知されるようになりましたが、診療報酬や介護報酬の改定の動向からも、これからは「質」がより重視される時代であると実感しています。
 専門職としての質を高め、社会から信頼され続けるためには、現場で培われている実践や課題を協会活動に反映させ、継続的に改善していく姿勢が必要だと感じています。
 代議員として、現場で働く一人としての視点を大切にしながら、協会の運営や方向性に責任を持って関わってまいります。
 日々の活動の中で会員の皆さまの声を受け止め、協会と現場をつなぐ役割を果たしていきたいと考えております。
 どうぞよろしくお願いいたします。



氏名 白石 哲也
 年齢 40
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 訪問看護ステーション三軒茶屋



氏名 河元 孝正
 年齢 48
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 総合東京病院

立候補の趣旨

【地域・協会活動の実績を基盤に、職能と職域を拡張する】

- 立候補の動機
 認定理学療法士（神経筋障害・介護予防）として臨床に従事する傍ら、都士会委員会や世田谷支部員として、地域ケア会議や自主グループ運営等、地域リハの最前線で活動しています。活動を通じ「個人の献身に頼る限界」と「仕組みを変える必要性」を痛感しました。臨床の実践知と実装力を融合させ、都士会の発展に貢献します。
- 実現したいこと
 ①地域ケアシステムにおけるPTの必修化
 現在取り組む連携モデルを形式化し、再現可能で正当な対価が得られる職域として確立を目指します。
 ②認定理学療法士の価値向上
 専門性が報酬や保険外市場で適正に評価されるよう、対外的なブランディングとエビデンス構築を推進します。
 ③協会運営のDX
 会員が研鑽に集中できるよう、運営効率化を提言します。
- 決意
 現場の課題を会議室で終わらせず、具体的な制度やメリットとして会員に還元します。「口だけでなく、動いて変える代議員」として全力を尽くします。

立候補の趣旨

急性期病棟・回復期病棟・在宅部門と様々な部署を経験してきました。
 その経験を活かして地域の医療に貢献するとともに、理学療法士の医療職としての地位向上に尽力していきたいと考えています。
 よろしく思います。



氏名 渡辺 重人
 年齢 42
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 世田谷リハビリテーション病院



氏名 山口 智広
 年齢 32
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 成城リハビリテーション病院
 回復期リハビリテーション病棟

立候補の趣旨

平成28年度から東京都理学療法士協会代議員を務めさせていただいております。引き続き代議員に立候補いたします。これまで地域活性化局 区西南部・区西部ブロック部の部員として東京都理学療法士協会の活動に携わってきました。現在は世田谷区支部の活動に関わる機会もいただき、地域の活動にも取り組んでいます。近年は理学療法士の活動の場が広がり、様々な領域で活躍ができる機会が増え、理学療法士に求められる能力も多岐に渡り、高い専門性と同時に広い視野が必要になってきていると感じています。また、多くの病院や施設では新卒・若手理学療法士の教育が大きな課題となっているのではと考えています。協会が開催する研修会や活動に参加することは、大変有意義な教育の場所と感じています。若手理学療法士や新しい分野へ挑戦する理学療法士が率先して参加してくる研修会や協会活動を企画・運営していくことは、東京都全体の理学療法士の質を向上させるために必要なことだと考えます。東京都理学療法士協会の活動がそのような場になるよう、代議員として協会活動に関わっていきたく考えています。さらに、昨今の著しい社会の変化に対応した協会活動が求められていると考えます。会員が日々の臨床業務の中で感じていること、理学療法士として感じていることを執行部へしっかりと伝えられるよう、代議員としての役割を果たしていきたいと思っております。協会活動が都民の医療・保健・福祉の増進に寄与するために、その時々最適なかたちで協会運営がなされるよう、代議員として取り組みたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

立候補の趣旨

このたび、東京都理学療法士協会代議員選挙に立候補させていただきました。私はこれまで臨床現場において、患者様一人ひとりの生活に寄り添いながら理学療法士としての責務を果たしてまいりました。その中で、私たち理学療法士を取り巻く環境は大きく変化しており、専門性のさらなる向上と職域の発展、そして働きやすい環境整備の重要性を強く感じております。代議員は、会員の皆さまの声を協会運営に反映させる重要な役割を担っています。私は、臨床現場の率直な意見や若手・中堅・ベテランそれぞれの立場からの思いを丁寧にすくい上げ、協会と会員をつなぐ架け橋になりたいと考えております。また、研修機会の充実や情報発信の強化を通じて、会員の皆さまがより学びやすく、成長を実感できる環境づくりに貢献したいと考えております。東京都における理学療法士の質の向上と社会的評価のさらなる向上のために、微力ながら誠実に取り組んでまいります。皆さまのご意見を大切にし、ともにより良い協会運営を目指して尽力する所存です。何卒ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



氏名 波多野 陽子
 年齢 44
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 河北リハビリテーション病院



氏名 生井 真樹
 年齢 49
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 世田谷人工関節・脊椎クリニック

立候補の趣旨

私はこれまでリハビリ業務と並行し、部内教育や臨床実習体制の再構築に取り組んできました。臨床実習指導者講習会のファシリテーター等の活動を通じ、指導者の質の向上や、より良い実習環境の整備について考えてきました。現在、理学療法士を取り巻く環境は変化しており、個々の技術研鑽のみならず、組織を牽引し、多職種と協働するリーダーシップの重要性が増しています。私自身、多くのスタッフと向き合う中で、役割の変化に伴う内的葛藤や、臨床家としての自己認識と組織人としての役割期待の間で揺れ動く若手・中堅層の姿を目の当たりにしてきました。東京都理学療法士協会という組織において、これまでの教育・管理の実践経験を活かすとともに、一臨床家が自信を持ってリーダーシップを発揮し、誇りを持って働き続けられる職域環境の構築に寄与したいと考えています。

立候補の趣旨

今回東京都理学療法士協会代議員に立候補いたしました、生井真樹です。今回は3期目の立候補になります。現在はスポーツ局スポーツ支援推進部に所属しており、都民の方々の地域スポーツ支援や競技スポーツを支援する地域活動を中心に活動をおこなっております。今後は、都民の健康増進、スポーツ活動の支援ならびに都土会会員へのスポーツ現場参加への支援を中心に活動したいと考えております。また役員として東京都理学療法士協会運営に関しても、今までに引き続き積極的に貢献したいと考えております。宜しくお願ひいたします。



氏名 原 辰成
 年齢 48
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 総合東京病院



氏名 細井 雄一郎
 年齢 37
 所属ブロック 区西南部・区西部ブロック部
 勤務先名称 慶應義塾大学

立候補の趣旨
 この度、代議員に立候補させていただきました。中野区にあります医療法人財団健賞会総合東京病院の原辰成です。現在は科長補佐兼外来ブロック長として、日々業務に励んでおります。また、平成30年度から中野区支部の支部長を務めております。引き続き、中野区を中心に、区西南部・区西部ブロック部の会員の皆様および地域の皆様の声を東京都理学療法士協会へ届けるよう尽力していきたいと思っております。

立候補の趣旨
 慶應義塾大学の細井雄一郎と申します。このたび、二期目として東京都理学療法士協会の代議員に立候補いたしました。これまでの一期目の任期を通じて、協会活動の意義や代議員としての役割について、改めて学ぶ機会を多く得てまいりました。こうした経験をふまえ、二期目においては、これまで以上に協会活動に真摯に取り組んでまいりたいと考えております。会員の皆様とともに、東京都理学療法士協会の発展に微力ながら貢献できるよう、誠実に努めてまいります。何卒よろしく申し上げます。

区西北部ブロック

立候補者一覧



氏名 高橋 勇貴
 年齢 44
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 東京北医療センター



氏名 六鹿 健児
 年齢 42
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 東京北医療センター

立候補の趣旨

代議員制度が開始されてから代議員として働かせていただいております。今後も、東京都理学療法士協会がより良い組織運営を行なっていただけるよう、会員の皆様の声を会議の場で届けていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

立候補の趣旨

これまで臨床業務と並行して、支部員として地域での活動に従事してきました。現在は急性期病院に勤務し、日々の臨床業務に携わると同時に、患者中心のリハビリテーションを実践できる理学療法士の育成を目指した教育活動を行っています。また近年は、理学療法士が専門職としてやりがいを持ち、いきいきと働き続けるために重要である「ワークエンゲイジメント」に着目し、その向上を目指した実践的な取り組みや研究にも関わってきました。臨床・教育・地域活動の経験を生かし、現場の声を反映した活動に貢献していきたいと考えています。



氏名 古庄 秀明
 年齢 39
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 練馬光が丘病院



氏名 中村 大祐
 年齢 48
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 辻内科循環器科歯科クリニック

立候補の趣旨

私は、平成30年度から当協会代議員を務めさせて頂き、会員の皆様の代表として総会での決議や理事との意見交換を行ってきました。当協会内での活動としましては、区西北部ブロック部事務局と練馬区支部長を務めさせて頂いております。具体的な内容としては、会員向けの研修会や学会の企画・運営、都民・区民向けの介護予防事業や地域ケア会議への参加、学童期の子どもに対する成長支援、災害リハビリテーション関連事業等を行っております。代議員は、執行部と会員をつなぐ重要なパイプ役であると考えます。現場の状況や意見をしっかりと把握し、声を上げたくても上げられない人がいることを十分理解し、誰もが理学療法士として誇りをもって働けるように努めていきたいと思っております。今後も微力ではございますが、当協会の発展と都民の健康・福祉に少しでも貢献していきたいと考え、代議員に立候補させて頂きました。よろしくお願いいたします。

立候補の趣旨

この度、令和7年度 東京都理学療法士協会代議員選挙に立候補致しました中村大祐と申します。会員皆様が主体的に参加し、活動できる場を多く作りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



氏名 久保川 優
 年齢 29
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 医療法人社団健育会 介護老人保健施設 ライフサポート ひなた



氏名 林 康太郎
 年齢 52
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 長汐病院

立候補の趣旨

私は現在、介護老人保健施設において生活期の理学療法に携わっています。医療から介護へ、そして在宅・地域へとつながる中で、理学療法士の役割は「機能回復」にとどまらず、「その人らしい生活を支えること」へと大きく広がっていると日々実感しています。

生活期の現場では、利用者本人だけでなく、ご家族、介護職、地域資源との連携が不可欠です。その中で、理学療法士が専門性を発揮しながら、多職種や地域と協働していく重要性を強く感じてきました。一方で、生活期・地域分野で働く理学療法士の声や課題が、十分に共有されていない現状もあると感じています。

私はこれまで、通所・入所・訪問リハビリテーションに関わるとともに、地域での介護予防活動や住民向けの運動指導など、地域との接点を多く持ってきました。こうした経験を通して、現場に根ざした課題やニーズを把握してきたことが、自身の強みであると考えています。

代議員として、生活期や地域で働く理学療法士の視点を協会活動に反映させるとともに、現場で得た課題や意見を丁寧に汲み上げ、協会と会員をつなぐ役割を果たしたいと考え、立候補いたしました。地域包括ケアの中で理学療法士がより一層活躍できる環境づくりに貢献していきたいと考えています。

立候補の趣旨

前期も代議員を務めさせていただきました。理事との意見交換会等では他の代議員の方々の様々な意見に触れ、多くの気付きや共感がありました。

また、協会の思いや方向性を確認することができ、大変有意義でありました。ただ、個人としての代議員の活動に終始してしまった点を反省しています。今回、代議員に選出していただいた際は、発言機会に対し周囲の意見を抽出し反映させたいと思います。

また、協会の思いや方向性など、知り得た情報を周囲に伝達し、代議員本来の役目である協会と会員の橋渡しとしての役目に今一度取り組みたいと思います。今後の理学療法士や取り巻く環境の発展に微力ながら貢献したいと思っております。よろしくお願いたします。



氏名 齋藤 弘樹
 年齢 41
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 大橋病院



氏名 高柳 竜馬
 年齢 27
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 練馬高野台病院

立候補の趣旨

部局・委員会や区西北部ブロックの一員として、これまで学術集会や研修会などの運営に携わってきました。支部活動としても、小学生から高齢者まで多くの地域住民の方に関わる活動をしてきました。これまでの経験を活かし、東京都理学療法士協会がより一層、都民の皆さんに貢献できる組織になれるように自分の出来ることを務めていきたいと思っております。また、活動している会員の皆様がより活動しやすいように、そして多くの会員の皆様が組織活動に興味を持って参加できるように発信をしていきたいと思っております。

立候補の趣旨

現在練馬区支部の事務局長として地域活動に携わらせていただいております。練馬区支部では練馬区や各地域包括支援センターと連携を取り、介護予防事業に力を注いでおります。学校教育現場における小学生の健康増進や、地域住民への体力測定、マラソン大会での怪我予防トレーニング等、様々な事業を行っており、協会活動の一環として地域住民の方々の役に立つ事ができていると実感しています。このように理学療法士は疾病予防、介護予防の分野においても役割を拡大している一方、その専門性や必要性が十分に理解されていないのが現状だと考えています。

また、現場の声として若年層の理学療法士は、自己研鑽を重ねても処遇や給与に十分に反映されない事に不満を持ち、協会への入会も断念する声も少なくありません。協会が理学療法士1人1人にとって価値のある存在となるためには、努力が正当に評価される環境整備が必要と考えています。

今後は代議員としてこのような非会員を含めた若年層の声も拾い上げ、制度・報酬の検討に携わって行きたいと考えています。また、地域活動における理学療法士の専門性や必要性を十分に理解して頂けるよう取り組んでいきたいと思っております。何卒よろしくお願いたします。



氏名 星 和彦
 年齢 41
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 東京北医療センター



氏名 小林 潤
 年齢 55
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 辻内科循環器科歯科クリニック

立候補の趣旨

私は整形外科領域を中心とした臨床に従事し、肩関節に関する研究活動を行うとともに、院内では新人教育委員および整形外科チームリーダーとして、人材育成とチーム医療の推進に携わってきました。また、地域高齢者の通いの場の立ち上げや体操指導、マラソン大会参加者への支援など、地域住民の健康増進活動にも取り組んでいます。これらの協会活動を通じ、理学療法士の社会的役割を地域へ発信する機会にも関わってきました。これらの経験を通じ、理学療法士の専門性を臨床現場のみならず地域社会へ還元するとともに、次世代を担う理学療法士の育成と職能発展の重要性を強く認識するようになりました。代議員として、現場で働く会員の声を協会運営に反映し、地域活動、学術活動、人材育成のさらなる発展に貢献できるよう努めてまいります。会員の皆様と協力しながら、理学療法士の価値を社会へより広く伝えていくことを目標に活動していきたいと考え、このたび立候補いたしました。

立候補の趣旨

医療法人社団翔洋会の小林です。医療分野、介護分野で勤務してきた経験を活かすこと、そして地域の医療、介護機関との連携を進めてきたことから、現場の声を届けていけるように取り組んでいきたいと考えております。何卒宜しくお願いいたします。



氏名 矢崎 祥一郎
 年齢 37
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 練馬光が丘病院



氏名 西田 喜実弥
 年齢 28
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 練馬光が丘病院

立候補の趣旨

練馬光が丘病院リハビリテーション室の矢崎祥一郎です。私は西北部ブロックに従事して14年となり、ICUをはじめとする集中治療領域や心血管疾患など内部疾患を中心に理学療法に携わってまいりました。日々の診療の中で、急性期医療の充実に加え、退院後の生活を支える地域との連携や切れ目のない支援体制の重要性を強く感じております。東京都理学療法士協会は、会員の資質向上と職域の発展、都民の健康増進に寄与する重要な役割を担う団体であり、代議員は現場の声を協会運営に届ける大切な役割であると考えています。これまでの臨床経験を活かし、西北部のみならず東京都全体のリハビリテーションの資質向上と地域連携の強化に貢献してまいります。宜しくお願いします。

立候補の趣旨

これまで練馬区支部の支部員に2年間活動させていただきました。その中で小学校でのけが予防や姿勢に関する授業を実施し、理学療法士が成長期における障害予防の視点を届ける機会になりました。また、地域在住高齢者を対象とした介護予防・フレイル予防講座を担当し、社会福祉事業団や地域のニーズに応じながら生活の自立支援援助に携わることができました。これらの経験を踏まえて現場と地域の声を協会へつなぎ理学療法士の発展に貢献したいと考えております。



氏名 遠藤 洋平
 年齢 35
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 竹川病院



氏名 土田 拓輝
 年齢 35
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 竹川病院

立候補の趣旨

この度、代議員に立候補させていただきます
 竹川病院リハビリテーション部の遠藤洋平です。

今回承認されましたら、3期目（2022～）の代議員となります。

最初は不慣れな状況でスタートした代議員活動ですが、
 年数を重ねるにつれ、
 少しずつ協会活動を深く知ることができているなど実感しております。
 協会の活動をよりよい方向へと進めていき、
 協会員にとって有意義な活動を展開していく一助になればと思っています。

理学療法士としての専門性を高める努力を怠ることなく、
 何より、都民の皆様健康に寄与することができ、
 地域社会に貢献できる活動を行ってまいります。

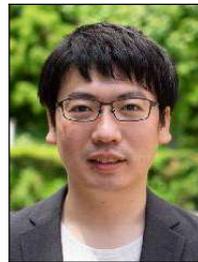
宜しくお願い致します。

立候補の趣旨

私は、板橋区内の回復期リハビリテーション病院に勤務し、10年以上の臨床経験を積んでまいりました。医療・介護制度の変革が進む中、臨床現場のリアルな視点を協会運営に反映させ、国民の皆様へ質の高い理学療法を提供すること、そして現役理学療法士が幸せな人生をマネジメントすることに貢献したいと考え、この度、代議員に立候補いたしました。現在、私は病院内でスタッフとの関わりや、認定理学療法士の認定カリキュラム講師を通して日々現場で強く実感するのは、理学療法士が自らのスキル向上に対して極めて貪欲であるということです。理学療法士は「誰かを支えることに喜びを感じる職業」と考えております。しかし、多忙な業務や環境の変化に困難を感じることも少なくありません。この純粋な探究心こそが職能の未来を切り拓くエネルギーであり、私は「支えることに喜びを感じる理学療法士を、協会が全力で支えていく」ことが使命であると考えます。今後は、病院内にとどまらず、地域住民の健康増進に寄与できる職能としての役割を広げ、東京都における理学療法士のプレゼンスをさらに高めてまいります。現役理学療法士が自らの専門性に誇りを持ち、主体的に臨床や研究に取り組む、「理学療法を極めていく」ことに喜びを感じられる土壌を耕します。現場で働く会員の皆様、日々の研鑽を確かな価値として社会に還元し、同時に一人の人間として豊かな人生を歩めるよう、協会がより身近にサポート提供できる組織であるための変化を推進します。これまで培った知見を礎に東京都理学療法士協会の発展に貢献し、会員一人ひとりの声を大切に、誰もが情熱を持って研鑽し続けられる未来を目指し誠実に職務を全うします。皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。



氏名 渡邊 祐介
 年齢 45
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 東京脊椎クリニック



氏名 小林 和樹
 年齢 39
 所属ブロック 区西北部ブロック部
 勤務先名称 竹川病院

立候補の趣旨

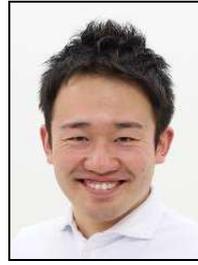
【（公社）東京都理学療法士協会】
 平成28年～現在 地域活性化局区西北部ブロック部北区支部部員
 平成28年～現在 公開講座準備委員会委員
 平成29年～現在 スポーツ局部員
 令和05年～現在 スポーツ局子ども健康・安全部 部長
 【（公社）日本理学療法士協会】
 平成29年～平成31年 スポーツ支援推進執行委員会総務小委員会
 令和03年～令和06年 代議員
 私は、日々の臨床や地域活動の中で感じてきた現場の率直な声を、協会へ届けたいと考え、立候補いたしました。
 2040年を見据え、理学療法士が社会から必要とされ続けるためには、現場と制度をつなぐ存在が必要です。私は世代をつなぐ架け橋となり、これからの日本を担う世代が「理学療法士であり続けたい」と思える環境づくりに取り組みます。
 現場の実情を丁寧にくみ取り、未来を見据えた協会運営に貢献してまいります。

立候補の趣旨

平成28年より代議員として活動させていただき、区西北部ブロック世話人、板橋区支部員として長く活動させていただいております。私は回復期リハビリテーション病院で17年勤める中で、若く熱意にあふれた理学療法士が臨床を通じて成長し、キャリアを積んでいくことを長くサポートしてまいりました。都内の理学療法士が各施設での臨床を通じて成長するだけではなく、最大の会員数を有する東京都理学療法士協会として、会員同士がもっと繋がり、ともに成長し、発展できるような活気あふれた協会となればと考えています。
 また、協会内ではエスカレーターマナーアップ推進委員会の副委員長を務めさせていただいています。この活動では、障がい者、企業、学校、社会など多くのつながりから理学療法士として新たな価値を創出、提案する活動を行ってきました。その経験を活かし、より良い協会を作る一助となればと考えています。東京都理学療法士協会の社会的発展と、会員とのつながりに寄与できるような代議員となればと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。



氏名 松岡 慎吾
年齢 45
所属ブロック 区西北部ブロック部
勤務先名称 東京北医療センター



氏名 渡邊 寿彦
年齢 38
所属ブロック 区西北部ブロック部
勤務先名称 ゆみの ゆみのハートクリニック

立候補の趣旨

この度、令和7年度代議員選挙に立候補させていただくことになりました、東京北医療センターリハビリテーション室の松岡慎吾と申します。代議員の一員となった場合は、当該ブロックでもある区西北部だけでなく、東京都全体における事業ならびに決算の承認や役員を選任、定款変更などの重要な事項を決議する総会に参加し、私の責任ある一票が東京都民の健康増進・医療全体に寄与に少しでも貢献できたらと考え、今回立候補させていただきます。

立候補の趣旨

東京都における理学療法士の声を協会運営に届け、地域包括ケアと多様な働き方を支える政策提言に取り組むため、代議員に立候補いたしました。

区中央部区南部島しょ部ブロック

立候補者一覧



氏名 鈴木 正則
 年齢 57
 所属ブロック 区中央部・区南部・島しょブロック部
 勤務先名称 東京衛生学園専門学校



氏名 井上 裕次
 年齢 57
 所属ブロック 区中央部・区南部・島しょブロック部
 勤務先名称 東京衛生学園専門学校

立候補の趣旨

理学療法士として歩み始めて三十余年、都士会の仲間として皆様と共に活動してまいりました。現在は財務部長などの役職を預かっており、種々事業を担当しております。私自身が本会の会員になった当時は直接総会であり、その総会に参加することで本会の運営動向を理解しながら、種々の事業のお手伝いをして参りました。昨今、本会の会員数は年々増加し、それに伴い代議員制度を採用する運びとなったわけですが、お自らの想いを、あるいは周囲の会員の声を本会の運営に届けることへの必要性を今なお感じております。したがって、自らが代議員となって総会等の議決に関わることを全うしたいと考えております。会員数が大きく増え、顔が見えにくい時代になったからこそ、代議員という役割が重要だと感じています。組織の大きな動向を把握し、現場の声や疑問をしっかりと橋渡しをする役割を担いたいと考えております。役員として本会の運営を支える責任を果たしつつ、同時に一人の理学療法士として、本会の未来を議論したい。そんな想いから、今回も代議員に立候補することとしました。

立候補の趣旨

この度代議員に立候補させていただきました。井上裕次と申します。現在我々の主たる職域である医療・福祉の環境はとて安定している状況とは言えません。このような環境下において、我々の職能の必要性や重要性を広く都民の皆様、国民の皆様にご理解をいただくことが我々の生活、身分を守っていくためには大変重要ではないかと思っております。そのためには広報活動のみにその役割を求めただけではなく、国の施策や行政への働きかけも大変重要と考えます。東京都理学療法士協会からの広報活動、行政への働きかけに対し、現場の会員の現状や声をきちんと伝えていくことが代議員の役割ではないかと考えます。私は現在養成校の教員として後進の育成に携わっております。その立場からも将来次世代を担っていく理学療法士の卵たちの声も挙げていくことができるのではないかと考え、立候補した所存です。



氏名 森本 雄太
 年齢 44
 所属ブロック 区中央部・区南部・島しょブロック部
 勤務先名称 たいとう診療所



氏名 小磯 寛
 年齢 47
 所属ブロック 区中央部・区南部・島しょブロック部
 勤務先名称 東京都立病院機構 東京都立荏原病院

立候補の趣旨

医療法人社団輝生会 在宅総合ケアセンター元浅草 たいとう診療所の森本です。現在、理学療法士を取り巻く環境は激変しており、職域の拡大や地域包括ケアシステムへの貢献など、多様な役割が求められています。私は外来、通所、訪問などの生活期のリハビリテーションに加えて、当診療所独自で行っている介護予防事業や地域住民に向けて2か月に1回の健康相談会を開催するなど幅広い視点を持ち関わっています。また東京都理学療法士協会台東区支部にも所属しており、台東区で働いている理学療法士に向けて、研修会の開催や福祉祭りで体力測定会を開催するなど、多くの理学療法士が研鑽する機会や地域活動へ参加できる仕組みづくりをしております。私は現場で活動する中で、その地域が活性化するだけでなく全国に発信する必要があると感じました。そのためには会員同士の横の繋がりを強化し、職能団体がより身近な存在になる必要があると強く感じております。これからの超高齢化社会を迎えるにあたり、今まで培ってきた理学療法士としての専門性や地域での理学療法士の在り方を広めていきたいと思ひ、微力ながら代議員として尽力したく立候補いたしました。よろしくお願ひします。

立候補の趣旨

大田区支部（前身を含む）の立ち上げ時より10年に渡り副支部長や事務担当として運営に携わり、地域内の理学療法士同士の顔の見える関係性構築や行政等の関係団体との連携、地域活動に尽力して参りました。また、地域リハビリテーション活動支援事業では区と協会の契約の元、円滑に事業が遂行されるよう現場と区や協会をつなぐ橋渡しを担い、事業を定着させてきました。地域包括ケアシステム、災害対策、障がい者の就労支援、生活習慣病予防、子どもの健康サポート等々、地域にはさまざまな課題がありますが、これらの課題解決に理学療法士の力が寄与できる部分が多くあると感じています。引き続き代議員として協会の目指す方向性を仲間に伝え、また臨床や地域の声を協会に届け、地域で理学療法士が活躍できる環境の整備にさらに努め、都民・区民の健康に資する支部運営を推進したく、代議員に立候補致します。



氏名 石塚 亮平
年齢 36
所属ブロック 区中央部・区南部・島しょブ
ロック部
勤務先名称 ㈱PT-O-T-S.T. NET

立候補の趣旨

私は、大田区支部の部員として研修会の運営、地域活動や介護予防事業などの振興に携わって参りました。現在、理学療法士は地域包括ケアシステムを担う専門職として期待されています。一方、課題も多く、今後は市区町村とさらに連携を強化することが求められています。東京都理学療法士協会がより一層、都民の健康増進に寄与する組織となりますよう、これまでの経験を活かして貢献したく、この度の代議員に立候補させていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

区東北部・東部ブロック

立候補者一覧



氏名 酒井 克也
 年齢 37
 所属ブロック 区東北部・区東部ブロック部
 勤務先名称 東京都立大学健康福祉学部



氏名 笠原 剛敏
 年齢 56
 所属ブロック 区東北部・区東部ブロック部
 勤務先名称 日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院

立候補の趣旨

このたび、代議員選挙に立候補いたしました、酒井克也と申します。

私は、東京都理学療法士協会代議員としての活動をはじめ、現在は新人教育部長を務めさせていただいております。これまで、新人教育部における教育体制の整備、新人教育プログラム研修の実施、日本神経理学療法学会における評議員、学術集会の運営など、教育・学術・組織運営の各分野に携わってまいりました。これらの経験を活かし、若手からベテランまでが参画しやすい運営、新人教育プログラムの体制整備、そして理学療法士の専門性と社会的価値の向上に貢献していきたいと考えております。皆様のご意見を協会運営に確実に反映できる代議員となるべく、誠心誠意取り組んでまいります。何卒ご支援・ご高配を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

委員歴

2025年12月 - 現在 第9回 日本神経理学療法学会 SIGs 集会長
 2025年11月 - 現在 第47回バイオメカニズム学術講演会 事務局長
 2025年7月 - 現在 東京都理学療法士協会 新人教育部 部長
 2025年4月 - 現在 日本神経理学療法学会, 評議員
 2024年4月 - 現在 東京都理学療法士協会, 代議員
 2024年1月 - 現在 日本神経理学療法学会 高次脳機能障害班 班員
 2023年4月 - 現在 東京都理学療法士協会, 新人教育部
 2021年4月 - 2023年3月 千葉県理学療法士会, 代議員
 2018年3月 - 2021年10月 システマティックレビュー班 (脳卒中)

立候補の趣旨

急性期医療の病院に勤務し、区東北・区東部ブロック部の江戸川区支部長として、現在、従事させて頂いております。東京都理学療法士協会（以下都士会）が公益社団法人として、社会的存在価値が高めるとともに、行政・地域社会からより一層、認知・信頼される組織となるため、そして職能団体として、都士会会員の知識・技能向上につながる運営の適正に寄与し、代議員に立候補させて頂きました。



氏名 田畑 稔
 年齢 62
 所属ブロック 区東北部・区東部ブロック部
 勤務先名称 東京保健医療専門職大学



氏名 中川 卓也
 年齢 37
 所属ブロック 区東北部・区東部ブロック部
 勤務先名称 柳原リハビリテーション病院

立候補の趣旨

協会・士会役員歴

2008年 日本理学療法士協会, 診療ガイドライン作成委員
 2013年 日本理学療法士協会, 日本心血管管理理学療法学会 運営幹事
 2014年 日本理学療法士協会連合, 編集委員会 宣統委員
 2015年 日本理学療法士協会, 地域包括対策本部コアコンピテンシー検討部会員
 2021年 日本循環器理学療法学会, 理事, 機関誌編集委員会 委員長
 2021年 日本予防理学療法学会, 評議員, 機関誌編集委員会 委員
 2022年 東京都理学療法士協会, 地域活性化区東北部・区東部ブロック部世話人
 2024年 東京都理学療法士協会 代議員
 2025年 日本糖尿病理学療法学会 評議員
 2025年 日本理学療法教育学会 評議員
 2025年 第45回東京都理学療法学会学術大会 準備委員会, 準備委員

立候補の趣旨

この度、東京都理学療法士協会代議員選挙へ立候補致しました田畑稔と申します。これまで日本理学療法士協会において、診療ガイドライン作成委員や日本理学療法士協会学会連合において学術活動を中心に活動して参りました。私は、理学療法士の後継者人材の確保や人口構造の高齢化に伴う臨床現場における疾病構造の変化や理学療法士としてキャリアアップするためのシームレスな卒前教育と卒後教育の連携および卒業後においても理学療法士としてのコンピテンシーを習得できるキャリア形成の仕組み作りなどについて、微力ながら役に立つことができればと思い、代議員選挙へ立候補させていただきます。理学療法士協会会員皆様の声を大切に、活動させていただきますので、何卒、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

立候補の趣旨

私はこれまで代議員を2期ほど務めさせて頂きました。今後も東京都理学療法士協会の発展と会員の現場の声や現状を少しでも反映させたいと思っております。誠実に努めますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



氏名 加藤 優一
 年齢 34
 所属ブロック 区東北部・区東部ブロック部
 勤務先名称 森山脳神経センター病院



氏名 西山 和輝
 年齢 30
 所属ブロック 区東北部・区東部ブロック部
 勤務先名称 大内病院

立候補の趣旨

森山脳神経センター病院の加藤優一と申します。この度は代議員に立候補させていただきます。
 私はこれまで11年間、回復期リハビリテーションに従事してまいりました。現在は中間管理職としてリハビリテーション科の運営に携わりながら、若手理学療法士の育成に力を注いでおります。臨床力の向上のみならず、学会参加や研究発表など学術活動への挑戦を後押し、成長の機会を広げられる環境づくりに取り組んでいます。また、協会活動への参加を通じて、地域に根ざした医療・介護連携の重要性を強く実感しております。今後はブロック活動で得られる情報や知見を共有し合いながら、理学療法士としての専門性と価値をより一層高め、東京都理学療法士協会の運営が円滑に進むよう尽力したいと考えております。よろしくご願ひ致します。

立候補の趣旨

このたび、私は代議員に立候補いたしました。
 精神科の理学療法士として日々臨床に携わる中で、患者さんの生活背景や心理状態、社会とのつながりまで含めた支援の重要性を強く感じてきました。その一方で、精神分野に対する理学療法士の教育が不足しており、現場で感じる課題や悩みが、十分に共有されないまま埋もれてしまう場面も少なくないと感じています。そうした現場の声を適切に届け、より良い環境づくりに貢献したいと考え、立候補を決意しました。

精神科領域における理学療法は、身体機能の回復だけでなく、意欲の向上や社会復帰への支援など、多面的な役割を担っています。そのため、制度や方針が現場の実情と乖離してしまうと、患者さんへの支援にも影響が出てしまいます。私は、日々の臨床で得た実感をもとに、現場に即した意見や提案を発信していきたいと考えています。また、職種間連携やチーム医療の重要性を現場で実感してきたからこそ、理学療法士の視点だけにとらわれず、多様な意見を尊重し、対話を重ねる姿勢を大切にしたいと考えています。意見の違いがあっても、共通の目的は患者さんのより良い支援であるという原点を忘れず、建設的な議論につなげていきたいと思ひます。

代議員として、公平で誠実な姿勢を持ち、現場と組織をつなぐ存在となれるよう努めてまいります。皆さまの声を大切にし、精神科理学療法士の発展に寄与できるよう全力で取り組みますので、ご理解とご支援をよろしくご願ひいたします。



氏名 佐藤 祐
 年齢 38
 所属ブロック 区東北部・区東部ブロック部
 勤務先名称 森山脳神経センター病院



氏名 中野 雅浩
 年齢 39
 所属ブロック 区東北部・区東部ブロック部
 勤務先名称 森山記念病院

立候補の趣旨

今回、代議員選挙に立候補させていただきました森山脳神経センター病院の佐藤祐です。前回は引き続き立候補致しました。
 現在私は江戸川区支部の活動もしているため、代議員の役割として地域活動につなげられるよう貢献していければと思ひます。また理学療法士協会の会員促進なども含めて同世代の意見を取り入れ発信していけたらと思ひます。まだまだ未熟者ではございますが今後ともよろしくご願ひ致します。

立候補の趣旨

より良い協会活動につながるよう頑張ります



氏名 安達 瑠那
 年齢 28
 所属ブロック 区東北部・区東部ブロック部
 勤務先名称 森山記念病院



氏名 坂井 亮太
 年齢 38
 所属ブロック 区東北部・区東部ブロック部
 勤務先名称 森山脳神経センター病院

立候補の趣旨

私は江戸川区の二次救急病院で、主に脳血管疾患や整形外科疾患の患者さんを担当しています。急性期の現場では、発症直後の不安が大きい中で、少しずつできることが増えていく過程に関わらせていただいています。

また、東京都理学療法士協会のスポーツ局スポーツ支援・推進部に所属し、江戸川区支部でバラスポーツ初心者教室のサポートにも参加しています。医療現場とは異なる環境ですが、そこでも理学療法士の関わりが参加者の安心や自信につながることを実感しています。

こうした活動を通して、理学療法士の役割は病院の中だけでなく、地域にも広がっていると感じました。同時に、協会の活動や取り組みが、会員の皆さんにより分かりやすく伝わるこの大切さも感じています。

現場で働く一人としての視点を大切にしながら、会員の声を丁寧に届ける役割を担いたいと考え、立候補いたしました。経験はまだ十分とは言えませんが、だからこそ現場に近い立場として発信できることがあると思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

立候補の趣旨

代議員となって4期程経ちます。引き続き、理学療法・リハビリ業界の発展、活躍に尽力していく所存です。よろしくお願いいたします。



氏名 石川 愛香
 年齢 41
 所属ブロック 区東北部・区東部ブロック部
 勤務先名称 森山脳神経センター病院

立候補の趣旨

私はこれまで2期にわたり代議員を務めてまいりました。

現在はエスカレーターマナーアップ推進委員会の委員長として、安全で思いやりある利用環境の普及啓発活動に取り組んでいます。理学療法士が社会に貢献できる具体的な実践の一つとして、継続的な活動を進めてきました。

都士会の活動は私にとって、多くの出会いと学びを得られる大切な経験の場であり、日々楽しみながら取り組んでいます。この前向きな思いを会員の皆さまにもお伝えし、一人でも多くの方に都士会活動へ参加していただける雰囲気づくりを進めてまいります。

3期目への挑戦となりますが、これまでの経験を生かしていきます。何卒よろしくお願いいたします。

西多摩・南多摩ブロック

立候補者一覧



氏名 倉田 考徳
 年齢 48
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 南多摩病院



氏名 長 正則
 年齢 48
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 高木病院

立候補の趣旨

この度、令和8年度東京都理学療法士協会代議員選挙に立候補いたしました。

急速な超高齢社会の進展の中、私たち理学療法士は、地域包括ケアシステムの構築に不可欠な存在としてその社会的ニーズに応えてまいりました。特にコロナ禍以降、社会とのつながりや生きがいを感じ、心身の活力が低下した多くの高齢者と向き合う中で、その役割の重要性を改めて痛感しております。学術的にも指摘される通り、潜在的なフレイル（虚弱）高齢者の急増は、今まさに私たちが取り組むべき喫緊の課題です。

一方で、私たち理学療法士を取り巻く環境もまた、大きな変化の渦中にあります。長引く物価高騰は経営を圧迫し、AIの台頭は業務効率化を加速させています。この流れの中で、効率化を優先するあまり、個々の対象者に寄り添うリハビリテーションの本質が損なわれてしまうのではないかと、私は強い危機感を抱いております。

このような社会の転換期にあつて、これまで築き上げてきた地域包括ケアシステムを守り、さらに発展させるためには、理学療法士の専門性がこれまで以上に重要となります。私たちの役割は、単なる身体機能の回復に留まりません。対象者一人ひとりの活力を取り戻し、地域社会への参加を後押しする、地域包括ケアの中核を担う存在であるべきです。

この使命を果たすため、私たち理学療法士は専門職団体として一層強固に結束し、社会に対してその価値を明確に示していかなければなりません。私は、これまで東京都や南多摩圏域での活動で培った現場の経験を活かし、会員皆様の声を協会運営に届けたいという一心で、代議員に立候補いたしました。

理学療法士が専門職として輝き続けられる未来のため、強固な組織づくりに全力を尽くす所存です。皆様の温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

立候補の趣旨

代議員に立候補致しました。支部での活動は研修会運営や、地域でリハビリ相談会の開催です。東京の西の端から会員さんの声を届けて参る所存でございます。2018年4月から2020年3月まで補欠代議員。2020年4月から代議員。2023年12月7日臨時総会では議長を拝命しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 日下部 彩
 年齢 39
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 八王子保健生活協同組合 城山病院



氏名 柴崎 大介
 年齢 48
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 暁 あきる台病院

立候補の趣旨

この度、初めて東京都理学療法士協会の代議員に立候補致します。これまで臨床業務を中心に働いてきた中で、理学療法士を取り巻く環境が日々変化していることを痛感しています。そうした中で、協会と臨床現場の繋がりを深めることが、情勢に合わせた活動をしながらも理学療法士業界の発展に必要であると考えています。現場の声を届けると共に、より良い協会運営の一助となれるよう尽力したいと思っております。宜しくお願い致します。

立候補の趣旨

この度、代議員に立候補させていただきます柴崎大介と申します。平成28年度より代議員を務めさせて頂いております。平成23年より西多摩・南多摩ブロック世話人として活動。平成29年度からは西多摩・南多摩ブロック部員、スポーツ担当として活動をしました。令和4年より代議員代表を務めております。組織運営検討委員会の委員もさせて頂いております。西多摩・南多摩地域会員の意見を反映できるよう、尽力できればと考えています。宜しくお願い申し上げます。



氏名 黒原 祐樹
 年齢 37
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 多摩リハビリテーション病院



氏名 金森 宏
 年齢 50
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 みなみ野病院

立候補の趣旨

令和2年度より東京都理学療法士協会代議員を務めさせていただいております。引き続き東京都理学療法士協会代議員に立候補いたします。多摩リハビリテーション病院内の黒原祐樹と申します。現在、青梅市支部や西多摩南多摩ブロック部での活動を通じ、研修会運営や介護予防事業に関わらせていただきました。東京都理学療法士協会が1つとなることでより良い活動となると感じております。そのため、代議員となり会員皆様の声を協会へ届けていけるように。また協会からの情報を会員皆様に届けていくため、力を尽くして取り組みたく立候補します。

立候補の趣旨

私はこれまで、八王子市の地域医療・リハビリテーションを支える医療法人永生会において、外来部門15年、通所リハビリテーション5年、回復期リハビリテーション4年と、約20年にわたり臨床の現場に携わってまいりました。また、市の理学療法士による健康相談業務や乳幼児発達検診、地域での講師活動などを通じて、理学療法士が地域社会の中で果たすべき役割を模索し、実践してきました。近年、地域包括ケアの深化や医療・介護・障害福祉制度の変化により、理学療法士には、単に臨床技術を提供する存在にとどまらず、地域そのものを支え、活性化していく担い手としての役割が一層求められています。東京都という多様な地域特性を有するフィールドにおいては、各地域の実情を踏まえた活動と、理学療法士同士の横のつながりを育むブロック単位での取り組みが、これまで以上に重要であると感じています。私はこれまで、地域での実践活動に加え、研修会や講師活動を通じて、理学療法士の学びや成長に関わる機会を重ねてきました。研修は単なる知識や技術の習得の場ではなく、現場の課題を共有し、互いに学び合い、地域に還元していくための重要な基盤であると考えています。ブロック構成員として、地域の実情に根ざした研修や交流の機会を通じて、理学療法士一人ひとりの成長が地域全体の力へとつながる仕組みづくりに関わっていきたくと考えています。私は、地域に根ざした臨床経験と、制度・研修・人材育成に関わってきたこれまでの経験を活かし、理学療法士が地域を支え、成長し続けられる環境づくりに貢献するため、東京都代議員として活動していく所存です。



氏名 棚谷 祐昌
 年齢 42
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 羽村三慶病院



氏名 佐藤 文雄
 年齢 49
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 羽村三慶病院

立候補の趣旨

2024年から2年間、西多摩南多摩ブロックの代議員を務めさせていただきました。初めて代議員として活動する中で、東京都理学療法士協会の取り組みや活動理念を深く知ることができました。

私が所属する羽村市支部では、市民や地域の方との交流を大切に、毎年、市民向けの健康セミナーやウォーキングイベントを開催するなど、地域の健康増進と健康活動の継続を支援しています。こうした地域活動を進める中で、市職員との連携や事前準備の進め方などを学ぶ機会が多く、私自身のマネジメント能力や協調性を高める貴重な経験となっています。

一方で、地域活動を支えてくださる仲間をさらに増やしていきたいと考えていますが、現状では支部員が少なく、業務負担が大きいことも課題です。支部の取り組みに興味を持っている会員もいるものの、活動の魅力や楽しさが十分に伝わりきれていない現状があります。これは西多摩地区だけでなく、東京都全体に共通する課題であることを、代議員として活動する中で実感しました。

協会の運営において、会員を増やすこと、そして休会・退会者を出さないことは、今後の発展に向けて非常に重要なテーマです。都士会の取り組みが地域の方々に広く伝わるよう、引き続き力を注いでいきたいと考えております。

また、私は若手療法士と話しやすい中堅の立場にあります。後輩たちの声に耳を傾け、現場の意見を協会運営に反映できるよう、改善点があれば積極的に意見・発言していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

立候補の趣旨

西多摩南多摩ブロックより立候補いたします。羽村三慶病院の佐藤文雄と申します。職場は回復期リハビリテーション、地域リハビリテーション（介護予防事業、健康増進事業等）に力を入れている病院です。

私自身は、管理業務を主とし外来リハビリテーション、地域事業等に関わっております。代議員に立候補した理由は、現場の理学療法士と東京都理学療法士協会とを繋げる役割を果たしたいという思いからです。近年、協会入会率が低下傾向であり、協会に入会するメリットを感じられないという理学療法士が少なからず存在していると思われまます。その中には、協会の活動内容を知らないがゆえに入会意義を感じていないという方も一定数いるように感じています。協会の取り組みや活動などを近隣地域で働く理学療法士に伝えていくとともに、情報発信の内容や方法などを東京都理学療法士協会とともに検討していきます。加えて、協会に入る意義を今以上に持てるように若手中堅理学療法士のニーズを把握し、ニーズを東京都理学療法士協会へ伝え、双方の擦り合わせをおこなっていきます。

私の職場のある西多摩地域は市町村各支部の理学療法士が少ないという地域性があります。その中で各支部は東京都理学療法士協会支部事業を実施しておりますが、人数が少ないため、必然的に個人にかかる負担が多くなります。支部事業を実施することは必要ですが、個にかかる負担の軽減を目指す必要があると感じています。支部事業における事務作業などの労力軽減や、近隣市町村間で理学療法士のマンパワーを補充し合えるような体制などを提案し、負担感なく支部事業に携われる理学療法士を増やしていけるよう取り組んでいきます。



氏名 吉川 和孝
 年齢 34
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 医療法人社団東光会八王子山王病院



氏名 風間 広行
 年齢 43
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 平川病院

立候補の趣旨

2014年4月 理学療法士免許取得
 2018年4月 認定理学療法士取得（運動器・呼吸）
 2024年4月～ 東京都理学療法士協会 代議員
 2024年6月～ 東京都西多摩南多摩ブロック部 部員
 2026年9月～ 動画配信管理委員会 委員
 私は理学療法士12年目となり、このたび2期目の立候補をさせていただきます。現在は病院に勤務し、日々臨床に従事しております。近年、理学療法士として働き続けることに不安を感じている方が増えていると実感しています。SNS等では将来への不安を偏る情報やネガティブな意見を目にする機会も多く、特に学生や新人理学療法士にとっては大きな影響を与えていると感じています。私はこれまで実習教育や新人教育に多く関わってきました。その経験に加え、認定理学療法士の取得や学会活動を通じて協会活動に触れる中で、個人や職場単位での取り組みに加え、職能団体として取り組むことの意義と可能性を実感しました。組織だからこそ実現できる支援や仕組みづくりに携わりたいと考えております。現在は所属施設・法人内で新生涯学習制度の推進にも関わっております。この経験を活かし、東京都士会およびブロック活動において、新人・若手理学療法士はもちろん、中堅以降の理学療法士にとっても意義ある取り組みを推進してまいります。

立候補の趣旨

今回、東京都理学療法士協会「西多摩・南多摩」ブロック代議員に立候補いたしました。平川病院の風間広行です。平川病院で働いて10年目となり、これまで3期にわたり代議員を務めさせていただきました。
 現在は精神科リハビリテーションの臨床をしながら、新人教育や実習指導といった教育活動にも取り組んでいます。過去の代議員活動を通して得た東京都全体を見渡す視点は、私にとって大きな財産です。それを現場に持ち帰り、後輩たちと共有したり、学会発表につなげたいと考えています。
 10年という節目を迎え、理学療法士としての専門性を深めることはもちろんですが、最近では精神保健福祉士の業務や行政の役割など、自分の守備範囲を広げることの大切さを感じています。それが結果として、患者様の生活やQOLの向上につながると思うからです。もちろん、その基盤は日々の臨床と学び続けることであり、まずは信頼されるセラピストでありたいと考えています。
 精神科リハビリテーションでは、疾患としてだけでなく人間全体を見る視点が大切にされています。個別性が求められる今の時代、この視点は領域を問わず力になると思っています。代議員として何かを強く主張するのではなく、対話を通じてこうした視点を共有し、地域課題の解決に役立てばと思っています。今期も引き続き、若手の育成や学術活動の活性化に努めてまいります。何より、この地域の諸先輩方や仲間との交流は私自身の支えです。皆様と切磋琢磨しながら、現場の声を丁寧に協会へ届け、この地域の発展に貢献したいと考えています。
 まだまだ未熟ですが、謙虚に精一杯務めさせていただきます。何卒、宜しくお願い申し上げます。



氏名 濱田 賢二
 年齢 46
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 平川病院



氏名 市川 富啓
 年齢 45
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 八王子保健生活協同組合 城山病院

立候補の趣旨

私は約10年前より西多摩・南多摩ブロック部員として、研修会の企画運営や介護予防事業を通じ、地域住民の皆様およびPTの仲間とともに活動してまいりました。令和7年度からはブロック部長を拝命し、ブロックと東京都理学療法士協会をつなぐ役割を担っております。西多摩・南多摩ブロックは11支部から構成され、北は青梅市・奥多摩町、南は町田市に至るまで、都内6ブロックの中でも最も広大な面積を管轄しております。都市部と中山間地域が混在する本ブロックでは、地域特性に応じた課題やニーズが多様に存在しています。代議員として、これまで現場で培ってきた経験をもとに、地域や会員の声を都士会へ丁寧に届けていきたいと思います。

立候補の趣旨

今回、東京都理学療法士協会の代議員選挙に立候補いたします市川富啓と申します。前回に引き続き2期目の代議員選挙の立候補になります。私たちが理学療法士は、対象者とそのご家族が住み慣れた「地域」で継続して生活が出来るように、医療・介護などの多岐にわたる分野から関わっています。病院、また通所・訪問リハ事業所のほか、福祉用具貸与と事業所での業務経験を活かし、対象者が暮らす「地域」での理学療法士に求められること、医療機関・在宅分野などの各分野で勤務するスタッフの声を協会運営やブロック活動とつなげられるように継続して関わりたいと考えています。



氏名 青木 賢宏
 年齢 45
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 八王子保健生活協同組合 城山病院



氏名 久保田 直美
 年齢 45
 所属ブロック 西多摩・南多摩ブロック部
 勤務先名称 平川病院

立候補の趣旨

私はこれまで回復期リハビリテーション病棟および療養病棟における臨床業務に従事し、実習生や職場スタッフへの臨床教育、学術活動、ならびに職場における管理業務にも携わってまいりました。2020年より代議員として協会活動に関わる中で、理学療法士を取り巻く社会的役割が大きく変化していることを実感しております。地域包括ケアの推進や多職種連携の深化に伴い、理学療法士に求められる専門性は一層広がりを見せています。そのような状況において、理学療法士の質の向上は重要な課題であり、その基盤となる教育体制の整備は欠かせないものと考えております。一方で、新人理学療法士への教育には、現場の状況や指導体制の違いなど、さまざまな配慮が求められる現実もあります。臨床・教育・管理の経験を踏まえ、現場の実情に即した教育体制の在り方や卒前教育と卒後教育を円滑につなぐ仕組み、卒後教育の充実に向けた取り組みなどの課題に向き合い、東京都理学療法士協会の発展に寄与できるよう尽力いたします。よろしく申し上げます。

立候補の趣旨

私は西多摩・南多摩ブロック所属の一会員として、日々臨床に従事しております。役職経験はありませんが、現場で働く理学療法士の立場から、会員の声を都士会へ届ける役割を担いたいと考え、立候補いたしました。広域ブロックの多様な意見を丁寧に聞き取り、協会と地域をつなぐ代議員として誠実に活動してまいります。

北多摩ブロック

立候補者一覧



氏名 松本 徹也
 年齢 38
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 緑成会整育園



氏名 宮田 恒徳
 年齢 54
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 三鷹市北野ハピネスセンター

立候補の趣旨

代議員として、現場の課題や多様な実践を丁寧に汲み取り、東京都理学療法士協会の発展と、都民に信頼される理学療法の推進に貢献したいと考え、立候補いたしました。

立候補の趣旨

急性期、回復期病院、地域のクリニック、そして障害福祉施設で30年以上、臨床で理学療法に取り組んできた。治療、教育、管理運営など様々な業務を通じて、今後最も進展が危惧されるものは教育であると考え。そこで今後も増える理学療法士の教育に組織として取り組めるような提案をしていきたいと考えたため代議員に立候補する。



氏名 三瓶 秀明
 年齢 46
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 佐々総合病院



氏名 堀 健太郎
 年齢 45
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 榊原記念病院

立候補の趣旨

2026年度より西東京市支部長に就任いたします。療法師のスキルアップに繋がる研修の提供と、地域内の強固なネットワーク構築を継続して実施してまいります。行政との既存の協力体制をさらに深め、地域住民の皆様には私たちの活動をより身近に感じていただけるよう活動を実施していきます。

立候補の趣旨

この度、東京都理学療法士協会代議員に立候補させていただきました榊原記念病院の堀健太郎と申します。令和3年から東京都理学療法士協会の組織運営検討委員会委員、令和4年より東京都理学療法士協会北多摩ブロック代議員を拝命しておりますが、これらの活動を通じて都土会活動の活性化の重要性を改めて感じております。高齢社会における地域包括ケアの実現、地域連携の強化および健康寿命の延伸のためには、関連学会や他の職能団体との連携を含めた日本理学療法士協会の活動に加えて、各都道府県レベルでの土会活動の活性化が重要と考えております。また、我々中堅世代の理学療法士が積極的に都土会活動に参画し、さらなる次世代に繋いでいくことが、職能団体として成熟、ひいては理学療法士の社会的認知度や地位向上に寄与すると考えております。引き続き東京都理学療法士協会会員の皆様、東京都民の皆様にご貢献できる都土会活動に関わりたくと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



氏名 鍛冶 宏宣
 年齢 41
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 小金井リハビリテーション病院



氏名 寄本 恵輔
 年齢 48
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 国立精神・神経医療研究センター病院

立候補の趣旨

私は理学療法士として15年間、回復期リハビリテーションと地域支援事業に携わってきました。回復期では、退院後の生活を見据えた支援を大切にしてきました。地域で活動する中で、生活の場に必要なリハビリが十分に届いていない現状も感じてきました。現場の声や実践をつなぎ、回復期の専門性を地域へ広げていくことが重要だと考えています。現場の視点を大切にしながら、代議員として東京都都市に貢献していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

立候補の趣旨

私は理学療法士として25年間、臨床に従事してきました。急性期から在宅まで、多職種と協働しながら患者の生活を支える理学療法を実践してきました。2011年の転勤を機に東京都理学療法士協会に加入し、2012年より現在まで北多摩ブロック世話人としてブロック活動の運営に携わっています。北多摩ブロック学会の開催や吸引研修の企画など、地域の理学療法士の学びの機会づくりに取り組んできました。また2015年より小平リハビリテーション協議会会長として、地域における多職種連携とリハビリテーションの推進に継続して取り組んでいます。2016年6月より東京都理学療法士協会の代議員を務め、会員の声を協会運営に反映する役割を担ってきました。さらに2025年には第44回東京都理学療法学会大会において大会長を務め、学術と臨床を結ぶ場の創出に尽力しました。代議員は、執行部を監視し、協会運営の透明性と妥当性を担保する重要な役割を担います。私は二元代表制の一翼を担う代議員として、現場の視点を大切にしながら、公正かつ建設的な議論に努めてまいります。今後も協会と会員の発展に寄与できるよう誠実に活動してまいります。皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。



氏名 柳堀 明久
 年齢 45
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 小金井太陽病院



氏名 房村 遼
 年齢 31
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 緑成会病院

立候補の趣旨

北多摩ブロック部で小金井を中心に地域活動を行っていました。前回任期では北多摩ブロック部代議員代表を務め組織検討委員会に参加させていただきました。引き続き会員の皆様のお支えになるように務めさせていただきます。

立候補の趣旨

東京都理学療法士協会 代議員に立候補させていただきます。これまで代議員として活動する中で、協会の方針や取り組みが、現場の理学療法士にとっていかに大きな意味を持つかを実感してきました。現場の声を協会運営につなぐ役割の重要性を改めて感じております。引き続き、臨床・教育・地域活動など、さまざまな立場の理学療法士がより活動しやすい環境づくりに貢献していきたいと考えています。



氏名 森山 聖悟
 年齢 40
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 東京さつきホスピタル



氏名 草間 三千雄
 年齢 37
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 小金井リハビリテーション病院

立候補の趣旨

私はこれまで、介護老人保健施設を中心とした生活期リハビリテーションに従事し、対象者の「生活」に深く根ざした質の高いリハビリ提供と、それを支える仕組みづくりに邁進してまいりました。近年の診療・介護報酬改定においては、急性期・回復期から生活期を見据えた体制強化や「質の見える化」、さらには生産年齢人口が減少する中での多職種協働の在り方も大きな局面を迎えています。この変革期において、医療・介護・福祉をシームレスに繋ぎ、生活期のあり方をさらに進化させることが、都民への最善の貢献に繋がると確信しております。

また現在、当会の高齢福祉部にて、都民・一般高齢者向けの研修企画・運営に携わっております。活動を通じ、自身の健康に強い関心を持つ方々の熱意に触れ、理学療法士の職域を持つ大きな可能性を肌で感じてきました。加えて、高齢労働者の活躍を支援するフレイル予防や労働災害防止、生産性向上に着目した企画も経験し、健康的に働き続けることの価値を再認識いたしました。働く世代の層が広がる中で、理学療法士の職域・社会的価値の向上には、継続的な活動と各部門とのより強固な連携が不可欠であると考えております。

代議員として、現場で培った「生活期の視点」と「部会での実務経験」を当会の意思決定に反映させます。理学療法士がより効率的かつ信頼される専門職として、都民の全ライフステージを支える職域を確立し、会員の皆様が誇りを持って挑戦し続けられる環境を構築するため、全力で取り組む所存です。

立候補の趣旨

これまで臨床現場において多くの患者様と向き合い、組織運営や人材育成にも携わってまいりました。その経験を通じて、理学療法士の専門性が医療・介護分野において果たす役割の大きさを実感するとともに、制度改定や地域包括ケアの進展など、私たちを取り巻く環境が大きく変化していることを強く感じています。現場で生じている課題や会員の率直な声を丁寧にすくい上げ、協会の意思決定や政策提言に反映させることが、今後ますます重要になると考え、立候補いたしました。特に、次世代を担う療法士が安心して専門性を高められる環境づくりと、現場と協会をつなぐ双方向の対話の充実に力を注ぎたいと考えております。専門職としての責任と誠実さを大切にし、協会の持続的な発展に貢献してまいります。



氏名 柳原 大助
 年齢 44
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 小金井リハビリテーション病院



氏名 板井 恵輔
 年齢 30
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 緑成会病院

立候補の趣旨

私は回復期リハビリテーション病院に勤務し、日々、急性期から在宅・生活期へとつなぐ役割を担っております。その中で強く感じているのは、医療と地域生活を結び理学療法士の役割の重要性和、地域ごとの連携体制の質が患者様の生活の質を大きく左右するという現実です。

回復期は「機能回復の場」であると同時に、「地域復帰を実現する準備の場」でもあります。しかし、退院後の生活環境や地域資源との接続が十分でない場合、せっかく回復した機能が十分に活かされないことも少なくありません。私は臨床現場の一員として、病院内の支援にとどまらず、地域包括ケアシステムの中で理学療法士がより主体的に関わる仕組みづくりが必要であると感じております。

東京都理学療法士協会の代議員として、回復期の現場から見える課題や実践知を共有し、医療機関・在宅分野・介護領域との連携強化に資する提案を行いたいと考えております。また、地域に根ざした理学療法士の価値を広く発信し、都民にとってより身近で信頼される専門職となるための活動に貢献したいと考え、立候補いたしました。

現場の声を大切にしながら、地域に貢献できる理学療法士の未来づくりに尽力してまいります。

立候補の趣旨

理学療法士として、都民の皆様が住み慣れた地域で安心して生活を続けられる社会の実現に貢献したいと考えております。協会理念のもと専門性向上と職域発展を通じ、会員の声を協会運営に届けて都民の健康と生活の質向上に寄与できるよう尽力してまいります。



氏名 富森 賢
 年齢 49
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 あきしま相互病院



氏名 牧野 健一
 年齢 46
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 田無病院

立候補の趣旨

代議員を継続し、地域でのリハビリテーションに引き続き力を注ぎたいと思っています。

立候補の趣旨

この度、代議員に立候補しました牧野健一と申します。
 令和5年度からの2期目の立候補となります。
 現在、健康増進部と西東京支部にて活動しております。
 活動から得た経験や会員の意見などを、引き続き伝えていければと思います。
 宜しくお願い致します。



氏名 三浦 啓一
 年齢 51
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 デイサービスセンターこまえ正吉苑



氏名 小川 洋介
 年齢 43
 所属ブロック 北多摩ブロック部
 勤務先名称 小金井リハビリテーション病院

立候補の趣旨

「超高齢社会において、私たちの職能が果たすべき最大の貢献は『健康寿命の延伸』です。介護が必要になる前の段階から理学療法士が積極的に関与する体制を構築し、予防のリハビリテーションを文化として定着させることで、持続可能な社会保障制度の実現に貢献したいと考えています。」

立候補の趣旨

私は、東京都における理学療法士の使命は「地域の中で生きる専門性」を確立することであると考え、代議員に立候補いたしました。とりわけ北多摩地区は、高齢化の進行とともに在宅医療や介護サービスの需要が高まり、医療・介護・予防を横断した切れ目のない支援体制の構築が強く求められています。その中心に位置づくべき職種の一つが理学療法士であり、地域連携の質がそのまま住民の生活の質に直結すると考えています。しかし現状では、各医療機関や介護事業所が個々に質の高い実践を行っている一方で、情報共有の不足や連携の仕組みの違いにより、支援が十分に運動しきれていない場面も見受けられます。理学療法士同士のネットワーク強化はもちろん、医師・看護師・介護職・行政・地域包括支援センターとの協働体制をより強固にし、「顔の見える関係」を基盤とした連携を推進していく必要があります。私は代議員となり、北多摩地区の現場で生じている課題や実践の成果を丁寧に集約していきたいと思っています。また、地域特性を踏まえた活動の活性化や情報共有の仕組みづくりを提案し、東京都全体の連携力向上に寄与したいと考えております。理学療法士が地域の中で継続的に力を発揮し、住民から信頼される専門職であり続けるために、地域連携を軸とした協会運営の推進に責任をもって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。

※掲載内容（趣旨文や写真）はすべて立候補者からの
申請内容のまま載せております。